

議会報告会 実施報告書

実施日時	令和 8 年 7 月 12 日（日） 10：30～13：00（第 1 部） 14：00～16：30（第 2 部）		
会 場	敦賀駅交流施設オルパーク	来場者数	45 名
役割分担	別紙 1 参照		

1 開催状況

今年度は、より多くの市民に気軽に参加していただき、議会活動や市政について知ってもらうため、「敦賀駅交流施設オルパーク」2階にて、休憩室では議会報告を、多目的室では意見交換を同時並行で行い、都合の良い時間に自由に入退室ができる形式とした。

議長を除く 21 人の議員が 2 グループに分かれ、第 1 部、第 2 部をそれぞれ担当した。議会報告では、各常任委員会より「敦賀市の防災に関する取り組みについて（総務民生）」、「敦賀港線跡地の利活用について（産経建設）」、「市立敦賀病院の経営について（文教厚生）」をテーマとして報告した。意見交換では、市議会・市政全般について参加者と意見交換を行った。その他、パネル展示やシールアンケートも実施した。

2 意見交換の質問・意見及びその回答

【敦賀市の防災に関する取り組みについて】

質問 1：防災のときの行政側と議会との連携はどうなっているのか。

回答 1：過去の事例で議会が表に出ない方が良かったことがあったので、議会としての BCP を作成する際、何かあった場合は当局と連携できる議会 BCP の仕組みを構築している。

質問 2：勝山市から来た。実家が敦賀にあり、議会報告会の取り組みに興味あった。勝山市にはなく、とても画期的。防災について、避難者に見合った量が備蓄できているのか。地震など大きな災害があった場合、どのように考えているのか。

回答 2：各コミュニティセンターの近くに防災備蓄倉庫を建設し、10 地区に分散して保管している。

質問 3：防災システムは、このような予算で十分なのか。

回答 3：国の方針などを活用して導入しており、必要十分なものであると理解している。

質問 4：防災システム導入で停電時の対応はできているのか。バックアップサポ

ートはできているのか。

回答 4：対策はされている。

質問 5：防災システムがこれまで人的対応に大きく依存していたことに驚きを感じるとともに、小規模自治体ごとにシステムを導入・運用することによる負担も懸念される。県全体で共通システムを導入することで、効率化やコスト削減を図ることはできないか。

回答 5：防災システムは各自治体の実情や条件に応じて導入されており、一律の仕組みとはなっていない。また、A I はあくまで情報収集や分析を支援するものであり、最終的な判断は人間が行うものである。

質問 6：分散して備蓄してある量は避難者の数に応じた量なのか。道路が寸断され復旧できない場合、どう考えているのか。

回答 6：①必要量を想定して準備しており、年々増やしている。
②松島中央公園にヘリポートを用意している。避難困難地域では、ある程度物資を届けられるような手はずは整っている。
③市内のアル・プラザ平和堂など、民間企業と連携もしている。
④基本的には各避難所の避難想定収容人数の 3 日分が基本の備蓄であって、3 日以降は運搬できるという考えである。
⑤各ご家庭で 3 日分の水や食料を確保いただきたいという基本的な考えに基づき、市民の皆様をお願いをしている。

質問 7：希望者全員に安定ヨウ素剤を事前配布するという説明会を、5 キロ圏内と同じように設けてほしい。福島の小児甲状腺がんの子供たちは、いろいろ発表は違うが、400 人以上発症しているという情報があり、それは国際標準の 20 倍から 50 倍という。受け取りの申請をしない人が多く、残念。

回答 7：30 キロ圏内の対象者については、申請があれば配ることになっている。周知、広報活動が必要との意見として受けさせてもらう。

質問 8：ハザードマップでは、能登半島地震での津波に対応していないのでは。また、垂直避難体制の考えは。

回答 8：敦賀市でも市内の高層施設と協定を進めている、担当課に伝える。

意見 1：鳥取大学病院の広報誌や高知県危機管理課の防災カレンダーなど参考しては。

【敦賀港線跡地の利活用について】

意見 2：J R 敦賀港線は線路を活かした整備を進めるべき。(キハや S L も展示すべき)

【市立敦賀病院の経営について】

質問 9：敦賀病院の黒字化努力はしたが、病院独自の原因は何なのか。国立との統合はしないのか。

回答 9：敦賀病院としても分析はしているが、コロナ以降利用者が減っていること、診療報酬が物価の高騰・人件費の高騰についていけないことが赤字の要因となっている。敦賀の医療を今後どうしていくか、敦賀医療センターと敦賀病院との統合も含めて専門の人を配置して敦賀の医療を維持するために今後どうしていくかの検討をしている。

質問 10：敦賀医療センターと敦賀病院の統合問題や今後の経過について教えてほしい。

回答 10：両病院はいずれも経営上の課題を抱えており、特に敦賀医療センターでは常勤医師数の大幅な減少が深刻な問題となっている。また、敦賀病院においても患者数の減少や施設の老朽化が進んでいることから、将来を見据えた地域医療体制のあり方について検討が求められている。こうした状況を踏まえ、現在、両病院は将来の連携や役割分担を含めた協議を進めている。

質問 11：高額な医療機器である「ダヴィンチ」を導入するにあたっては、導入費用だけでなく、実際に運用できる医師の確保や、利用が見込まれる患者数についても十分に考慮すべきではないか。

回答 11：現在敦賀病院には操作できる医師はいないものの、当面は外部から専門医を招き、将来的には院内で対応できる体制を目指している。議会としても、設備を導入するだけでなく実際の活用状況を注視していく。

意見 3：敦賀病院の看護師の対応が悪いので客が逃げている。

【その他】

質問 12：バスの使い勝手が悪い。どこが不便なのか、市役所職員や議員も使って感じてほしい。

回答 12：課題を知るためにも利用は大事である。

質問 13：事業内容などについて、決まってから説明会をされても困る。誰のためにするのか、市民のためなのかを考えてほしい。現場を見て何が 필요한かを見てほしい。

回答 13：要望として受け止める。

質問 14：北陸新幹線の延伸について、難しいとは思いますが、小浜の方を使って広島

にも行けるという方法にすればまた違うと思う。

回答 14 : ①敦賀市議会は、一貫して小浜・京都ルートを主張している。

②日本維新の会は小浜・京都ルート、京都でも桂川に通す新京都駅という形と、米原ルートを言っているが、米原は絶対進まないと考える。

③東海道新幹線は本数が今でも多くて、そこに加わるのは大変である。

質問 15 : 公園の緑化、コミュニティセンターなどの維持が難しいというのは具体的にどういうことか。

回答 15 : ①維持管理を業者委託するか、市民コミュニティが担っていくか、やり方は二通りある。市民コミュニティに維持管理を担っていただけるとよいが、なかなか難しい。

②栗野コミュニティセンターは定期的に区内に呼び掛け、何人か集まって維持管理いただいている。その間にコミュニティもできる。市もバックアップしていかなければならないときもあるが、吟味してやっていくべき。地域が地域を支えるのは理想である。

質問 16 : 上記のシステム作りをする課があるのか。担当課に電話をしたが、その後、なんの変化もない。

回答 16 : これまで公民館は所管が教育委員会だったが、コミュニティセンターに変わってからは総務部所管となり、動きやすくなる部分が出てくると考える。

質問 17 : クリスマスシーズンに otta (オッタ) で設置が予定されているクリスマスツリーは、松本零士作の漫画「大純情くん」に出てくる「ピラミッド」に変更した方が、商店街に設置してあるモニュメント作者の松本零士氏と関連があり話題になるのではないか。

回答 17 : ご意見として承る。

質問 18 : 敦賀市金山最終処分場の整備について、建設時に地下に硬い岩盤が見つかり追加工事費が発生したが、硬い岩盤をさける方法を模索出来なかったのか。

回答 18 : 敦賀市金山最終処分場は既に竣工している。施設整備における柔軟な対応については今後も理事者に求めていく。

質問 19 : ニュースポーツであるボッチャ、フライングディスク、スティックリングについても、今後の敦賀市のスポーツ振興の対象に含めて欲しい。

回答 19 : ご意見として承る。

質問 20 : 「戦没者戦災死没者追悼式」のメッセージを市役所のオープンスペースな

どに掲示し、市民に周知できないのか。

回答 20：担当課に伝える。

質問 21：議員視察の結果が市の政策にどう活かされているのか報告してほしい。

回答 21：検討していきたい。

質問 22：RCNの議会チャンネルを有効活用してほしい。（議会だよりなど）

回答 22：検討していきたい。

質問 23：コミュニティーバスのダイヤ改正を望む。（サンピア前）

回答 23：個々に合せることは難しいところがある。

質問 24：「氣比の杜構想」の進捗は。（第二の「ちえなみき」になるのか）

回答 24：現在、氣比の杜整備基本計画策定委員会で検討中である。

質問 25：商店街にアンテナショップをつくって発信しては。

回答 25：皆さんから声を出していただく事が重要である。

質問 26：観光政策ばかりに力を入れているが、収益を考えているのか。発想の転換が必要では。

回答 26：我々も慎重に議論を重ねていきたい。

質問 27：民泊をできないか。駅前商店街など1階店舗で、2階が空き家（空室）になっているようなので、高齢の方が2階にお住まいであれば、住居を1階の他の所に移ったほうが、生活し易いのではないか。

回答 27：お住まいの方や所有者に強制はできないし、高齢の方は長年住み慣れ、繋がりのある地区からの引っ越しは受け入れがたいのでは。

意見 4：敦賀市の鯉公園（松島第4公園）は草がぼうぼうで、散歩に来た保育園の子供たちにダニが寄ってきて、いつか大ごとになる。市民が行きたくなくなるような公園になっていないのはすごく残念。小さな問題にも少し目を向けてほしい。何十億というお金を動かすのは大変だろうが、地域のお金を有効に使うためにもう少し頭を使ってほしい。

意見 5：コミュニティセンター周辺の緑化、花とか本当に市民がこぞって足を運びたいと思える場所に変えていく努力を少ししてほしい。市民が目で見え納得できる場所を造ってほしい。

意見 6：北陸新幹線延伸で、京都・小浜ルートで議論しているが、京都・大阪に繋ぐことに固執せず、舞鶴から山陰方面を考えた方が良いと思う。鳥取・島根を繋いで、下関あたりで山陽新幹線へ繋ぐと良い。

意見 7：敦賀市だけではなく、県や国も巻き込んだ広域的な対応が必要。

3 議員からの反省点等

- ・意見交換において、テーマを決めず自由に発言できるようにしたことにより、気軽に市民の意見や要望を聞くことができ、「駅前カフェ」らしく交流が深まった。その一方で、話の内容が散漫になりがちだった。
- ・議会報告の説明が意見交換を行っている隣室の多目的室まで響き、質問や回答が聞きづらかった。
- ・意見交換で受ける質問は事前に聞いていないため、議員側も詳細を回答できなかったり、正確でなかったりする場面がある。事前にテーマを決めておいたり、質問を募っておいたりといった対策が考えられるが、それはカフェらしい気軽な雰囲気を損なってしまうという欠点もある。
- ・円滑な意見交換を促すことにも技術が必要であり、議員に対する「傾聴」や「ファシリテーション」の研修の必要を感じた。
- ・開催時間は、午前午後ともに最初の回に参加者が集中したので、午前 3 回午後 3 回ではなく、午前、午後、夕方それぞれ 1 回ずつとするなど、工夫の余地があると考える。
- ・オルパークだったので子連れで参加しやすかったという声があった。
- ・会場前で実施したパネルアンケートには多く立ち止まって回答いただけた。皆が敦賀市についてどう考えているか感じることができ、有用性を感じた。
- ・オルパーク休憩室のプロジェクターは出力が弱くスクリーンにははっきりと投影できないため、入替が必要と考える。
- ・今回の会場は駐車場が有料だから行かなかったという声を後から聞いた。
- ・せっかく駅前でやったのだから、例えばちえなみきや駅西広場など、現場説明も併せられると参加者増につながるのではないかな。
- ・議会報告会の参加者を増やすため、いろんな団体や企業に直接チラシ持参で周知に行くと効果があるのではないかな。
- ・若年層の参加もあり、オルパークで実施した効果があった。

- ・オルパークは普段から勉強や休憩に使っている方が多く、まる 1 日借り上げてしまうのはやや影響が大きいと思った。
- ・ 7 月は行事が集中する時期であることから、参加者数が伸び悩んだ一因ではないかと思われる。

以 上

敦賀市議会議長 浅 野 好 一 殿

令和 8 年 7 月 2 4 日

敦賀市議会報告会実施要綱第 1 0 条第 1 項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 大 石 修 平